

杭のN-M図・M-φ図・せん断力図作成システムのバージョンアップについて

1. はじめに

(一社)コンクリートパイル・ポール協会(以下、COPITA)では、杭基礎関連の業務に携わる皆様への一助として、既製コンクリート杭のN-M図・M-φ図・せん断力図作成システム(Ver3.4.2)を開発し、販売をしております。このたび、約8年ぶりにバージョンアップ(Ver3.5.1)を行いましたので、ご案内申し上げます。以下に、主なバージョンアップ箇所について示します。

なお、(一社)日本建築学会発刊「基礎部材の強度と変形性能」のN-MやM-φの計算方法には、本ソフトは対応しておりませんので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

2. 主なバージョンアップ箇所

①データシートの諸元を変更しました。変更を行ったシート名は以下のとおりです。

- ・CPRC-85 建築
- ・CPRC-105 建築
- ・PRC-85 建築
- ・PRC-105 建築
- ・CPRC-85 建築(一体解析)

②「CPRC-85 建築」「CPRC-105 建築」の短期許容、終局せん断力計算時に使用するせん断式を変更しました。せん断式の変更箇所を、表1に示します。

表1 せん断式変更箇所

変更項目名	変更前	変更後
CPRC-85の低減係数「β」	0.8	0.76
CPRC-105の低減係数「β」	0.8	0.7
CPRC-105のせん断式で用いる設計基準強度(Fc)	85	105
$p_w \cdot w \sigma_y$ にかかる係数	1	0.785
せん断式計算時の規定応力度の適用範囲①	$p_w \cdot \sigma_{spa} > 7.4$ の時 $0.657 p_w \cdot \sigma_{spa} = 4.87$	$0.785 p_w \cdot w \sigma_y \geq 7.4$ の時 $0.657 (0.785 p_w \cdot w \sigma_y) = 4.87$
せん断式計算時の規定応力度の適用範囲②	$\sigma_{ce} + \sigma_o' > 27.4$ の時 $0.102 (\sigma_{ce} + \sigma_o') = 2.79$	$\sigma_{ce} + \sigma_o' \geq 27.4$ の時 $0.102 (\sigma_{ce} + \sigma_o') = 2.79$

3. 本ソフトに関するお願い

- 本システムの誤りが発見された場合、その旨を次ページの「質問票」にて COPITA までご通知下さい。なお、誤りの修正時期等につきましては、即答出来ない場合がありますのであらかじめご了承下さい。
- 本システムは操作性の容易さや安価な価格でご提供するため Microsoft 社の表計算ソフト Excel で作成されております。そのため、ソフトの制約上、注釈や記号説明等の印刷表示がずれる場合がありますのであらかじめご了承下さい。なお、表示方法の修正は可能ですので、必要に応じて修正して印刷下さい。
- 本システムの操作方法に関するお問合わせにつきましては、お手数ですが「質問票」にて COPITA までご通知下さい。なお、Excel に関するお問合わせにつきましては、お答え出来ませんのであらかじめご了承下さい。
- 本システムに関するご要望・ご意見がございましたら、COPITA まで「質問票」にて COPITA までご通知下さい。なお、ご検討させていただきますが、内容により対応できない場合がありますのであらかじめご了承下さい。

年 月 日

(一社) コンクリートパイル・ポール協会 事務局 宛

TEL : 03-5733-5881

FAX : 03-3433-5414

Eメール : copita_a@c-pile.or.jp

質問票

会社名		氏名	
部署		役職	
シリアル番号		バージョン	
連絡先	TEL : FAX : Eメール :		
質問箇所			
質問内容			